



— びんご府中人 —

地域で暮らす「ガイド」、「観光事業者」、「ものづくり事業者」などの「地域の人＝びんご府中人（びと）」を紹介します！



地域おこし協力隊

吉田武史さん

今注目しているのは、阿字和紙です。昔から和紙が作られていましたが、しばらくの間途絶えていました。地域の方々によって、最近、工房が復活しましたが、和紙をすける職人さんが少なく、地域の高齢化もあいまって、今のままでは、観光に取り入れることができません。地域おこし協力隊のつながりをたどって、人を呼び込み、観光業が成立する場にしていきたいと思っています。



(一社)府中市観光協会

八谷 優さん

2020年2月に(株)JTBより地域おこし企業人として府中市に赴任し、早や半年になりました。旅行会社というノウハウや知見を活かして府中市観光振興ビジョンに掲げた推進施策を実現していきたいと思っています。特に観光商品開発、ブラッシュアップ、マーケティングに注力し、府中市の魅力発信につなげていきたいと思っています。

今後、活躍するびんご府中人を紹介していく予定です。



上下ガイド協会

会長 中下正子さん

上下ガイド協会では、コロナ禍の今だからこそ遠くの観光より、地元を知ってほしいと思います。特に子どもたちも楽しめる上下町のイベントは、中止が続いています。子どもたちにとって、ふるさとがなくなってしまう感じがして、とても悲しい気持ちです。上下ガイド協会では、今こそ地元の子どもたちをはじめ、家族みんなでふるさとに触れる仕掛けなど、できればと思います。

みんなで盛り上げよう
府中市観光

「おもてなしトイレ」のロゴマーク募集

施設や店舗のトイレを快適に利用できる「びんご府中おもてなしトイレ」を募集するにあたり、目印となるロゴマークを募集します。



ひろしまサイクルおもてなしスポット

サイクリストを、一緒に、温かくおもてなしをしてくれるスポットを募集しています。



問い合わせ先 観光課 (☎43-7141)

第1回目

府中市観光振興ビジョン

背景

— 少子高齢化・人口減少への対応や、地域経済の底上げを図るため、観光振興を通じた地域の活性化に取り組むことが必要です。 —

目的

— “市外や海外から多くの人々を招き、交流し、体験する、びんご府中”の実現のために「観光」を活用します。 —

目指す姿

— 「観光」が府中市を支える産業の一つになること。 —

観光客への魅力発信

キーワード

- ・府中・上下エリアの歴史・文化・・・「備後国府」の府中、「天領・白壁の町並み」の上下
- ・府中市が誇るものづくり・・・「ものづくり・巧みの技」、「ものづくりを育んだ風土」、「100年企業」
- ・地域住民と観光客の交流・・・交流を通じて伝わる「府中らしさ」、「日々の暮らしぶり」

基本方針

府中市にある魅力ある観光資源を、地域で暮らす「ガイド」、「観光事業者」、「ものづくり事業者」などの「地域の人＝びんご府中人（びと）」を通じて、訪れる観光客にお届けします。

地域を代表する観光資源やものづくりなどの地域資源の魅力はもちろん、地域が誇る歴史・文化を中心に、人々の暮らしぶり＝ライフスタイルそのものを府中の魅力として、びんご府中人が内外に発信します。

歴史・文化やものづくりの技など、有形・無形の「びんご府中らしいライフスタイル」を観光客が体感できる今までにない観光地が、府中市が目指す観光のかたちです。

びんご府中らしい観光

魅力的な観光資源 × 住民との交流 × ライフスタイルの体感

訴求すべきコンセプト

観光客と住民が交流する”ライフスタイルツーリズム”の推進地、びんご府中～歴史・文化やものづくりなど、びんご府中でのライフスタイルを交流しながら楽しむ～

府中市が提案する、府中らしいライフスタイルツーリズムとは

びんご府中人との交流を通じて、脈々と継承している歴史・文化や自然、暮らしを支えてきた「ものづくり」などの産業を体感し、あわせて日々の暮らしぶりを垣間見てもらうことで、ありのままのびんご府中を感じてもらい、びんご府中のファンになってもらう観光の形です。